

地域医療連携だより

Vol.253
R6.7

長浜赤十字病院 地域医療連携課
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7
TEL 0749-68-3314
FAX 0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター
地域周産期母子医療センター
地域災害医療センター
滋賀県地域がん診療連携支援病院
滋賀県基幹原子力災害拠点病院



仲夏の候、貴院におかれましてはますますご清栄のことと存じます。
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

がん診療支援室長就任のご挨拶

タンゴ ヤスヒサ
がん診療支援室長 丹後 泰久

4月から、がん診療支援室長を拝任いたしました丹後泰久と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は平成7年から外科医としてがん診療に携わってまいりました。がんはある種の感染症のように根絶する未来があると幼い頃の私は信じておりました。ところが、以前に比べて治療成績は格段に向上したもののいまだに手強い疾病であることは、2人に1人ががんに罹患し、3人に1人はがんでお亡くなりになっているという事実からもうかがえます。多くの人々が、人生のある一定期間がんと共存する、あるいはがんの再発の可能性に不安を抱きながら社会生活を続けていく時代であります。がん患者さんやご家族が抱える多様な問題やニーズに応え、可能な限りのサポートをすべく努力を続ける所存であります。



がん診療支援室一同

幸いなことに当院には、親身になって対応する誠実さと高い専門性を持った経験豊富なスタッフが多く在籍しており、大役を担うこととなりましたが大変心強く思っております。これまで医師としてがん診療や研究に携わってきた経験や、がん患者の家族となった経験を活かし、多くの方々のご協力を頂きながらがん診療支援室を運営してまいりたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

がんサポートグループれんげそうを開催しました

6月22日、がんサポートグループれんげそうを開催しました。がんサポートグループとは、がん患者さんやご家族同士が、さまざまな疑問や悩みなどを語り合う場です。

れんげそうは、講演会と語りあいの二部構成で開催しています。第1部は「がんによるストレスのケア」と題し、沖野剛志小児精神科部長の講演、第2部は、参加者同士が語りあえる場としました。語りあいでは、がん治療・療養中の経験談や楽しみを見つけ方など話されていました。

参加後のアンケートでは、「心が軽くなった」「貴重な意見交換の場だった」などの評価を頂きました。次回は、秋頃開催を予定しています。



糖尿病・内分泌内科部長就任のご挨拶



糖尿病・内分泌内科部長
コダマ ケンイチ
児玉 憲一

2024年4月より長浜赤十字病院糖尿病・内分泌内科部長を拝命いたしました。早いもので2005年4月に江川克哉部長(現在副院長兼任)とともに長浜赤十字病院に着任してから今年で19年目になります。ここまで続けることができたのも地域の先生方のおかげであると感謝しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

19年の間には糖尿病治療の進歩(SGLT2阻害薬、GLP-1受容体作動薬、GIP/GLP-1受容体作動薬、イメグリミンなどの新規薬剤、SAPやフリースタイルリブレ®などの新しい治療機器)、免疫チェックポイント阻害薬に付随する甲状腺機能障害や下垂体不全などの新しい疾患群、さらにはバセドウ病治療におけるヨウ化カリウムの併用などさまざまな領域で大きく変化しており、今後ますます進化していくものと予想されます。

私たち糖尿病・内分泌内科では時代の変化を速やかにキャッチアップし、毎日の診療に活かして地域の皆様に役立ちたいと考えています。2005年着任時は江川部長との2人体制でしたが、今年度からは糖尿病・内分泌内科だけで5人体制と県下でも有数の大所帯となりました。ご紹介もさほどお待たせすることなくお受けすることが可能です。

さらには当院には看護師、薬剤師、栄養士、検査技師など多職種にわたる数多くの糖尿病療養指導士が在籍し、個々の患者さんに応じたきめ細やかな診療を提供しています。

これからも皆で力を合わせてより良い医療を提供できるように努めて参ります。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

診療科別紹介患者数

診療科	令和4年度	令和5年度	診療科	令和4年度	令和5年度	
内科	22	28	麻酔科	29	8	
総合診療科	67	65	精神科	412	445	
消化器内科	診察	1,511	救命内科	1,116	1,032	
	内視鏡検査	590	救命外科	456	443	
循環器内科	752	776	救命小児科	227	283	
糖尿病内分泌内科	281	283	救命精神科	9	12	
神経内科	診察	339	救命産婦人科	49	49	
	生理検査	9	歯科口腔外科	1,169	1,420	
血液内科	79	92	放射線科	超音波(US)	32	32
小児科	診察	491		CT	711	817
	生理検査	3		MR	906	1076
外科・透析外科・CAPD外科	552	695		RI	31	26
整形外科	1,227	1,364		X線造影	1	1
形成外科	690	853		単純X-P	67	50
脳神経外科	診察	167		骨塩定量	111	91
	生理検査	38		セファロ・パノラマ	9	3
皮膚科	530	529		マンモグラフィー	2	2
泌尿器科	549	523		放射線治療のみ	0	1
産婦人科	1,207	1,344	<small>(市立長浜病院入院中患者)</small>			
耳鼻いんこう科	488	657	合計	14,929	16,359	

たくさんのご紹介をいただきありがとうございました
今後ともよろしく願いいたします

循環器内科部長就任のご挨拶

この度、循環器内科部長に就任することになりました。改めまして、専門領域の診療を中心に、救急体制のより一層の充実のため尽力していきたいと心新たに思う次第です。

当院は、近隣地域の救急医療に貢献することを目標に掲げており、3次救急指定病院として、24時間高度救急医療を行える環境を整えております。中でも循環器内科としては、院外での突然の心肺停止に対して、経皮的な心肺補助装置を可及的に装着できる体制を維持しております。この方法は、医師はもちろんのこと、臨床工学技士、看護師、生理検査技師、放射線技師が緊急呼び出しに対応できるように、常に待機をしている必要があります。そのため、マンパワーが必要となり、県内の救急病院でもごく限られた施設でしか対応ができていません。当院でこの体制が開始されてから、早くも10年が経過しました。救命が難しい状態であるにも関わらず、幸運も重なって劇的に回復される方も経験しております。心肺停止の状態から見事に回復されて退院される姿を見ることが、多大な労力が報われる瞬間であり、次の困難も乗り越えられるような気がしてくるものです。

また、昨今の機器の小型化・機能の高度化に伴って、より高度な治療が、少ない負担で行えるようになりました。例えば心臓ペースメーカーでも、足の付け根に針を刺したような傷だけで、外見的にも自覚的にも手術をしたような感覚がほとんどなく埋め込みができるようになりました。リードレスペースメーカーというもので、重さ2gにも満たない、小指の先ほどの本体で10年以上長持ちするという優れたものです。

当然ながら、「人道・博愛」の赤十字精神に則って、これら最新の機器をこの地域で活かしていくことが原点であります。皆様のご支援とご協力を賜りながら、循環器内科一同、全力を尽くしてまいります。



循環器内科部長
ドウチ ケンイチ
道智 賢市

第107回消化器カンファレンス開催のお知らせ

日時：7月25日(木) 18時30分～
場所：長浜赤十字病院 2号館5階 大会議室南

診断に苦慮した症例について検討します。是非ご参加ください。

※日本医師会生涯教育 1.5単位 CC:15

— 退職医師のお知らせ —

産婦人科 濱口 史香 7月末

消化器内科 森田 康大 7月末

お世話になりました

先月号(Vol.252)に関する誤表記のお詫びと訂正について

先月発行いたしました『地域医療連携だより(Vol.252)』の記載内容に一部誤りがございました。皆さまには大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げますと共に、下記のとおり訂正させていただきます。

『脾臓精査枠』の診察日について

誤) 火曜日、木曜日の午後 正) 火曜日、金曜日の午後

今後、このようなことがないように制作過程で確認を徹底し、再発防止に努めてまいります。何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。



出前講座に参加して

～こむぎ訪問看護ステーション～

緩和ケア認定看護師
クスタニ
葛谷 みどり

風薫る5月、新緑の映えるなか病院を飛び出し、こむぎ訪問看護ステーションさんにお邪魔いたしました。田園風景の中にたたくむ民家のような建物の一室を会場に設けて頂き、短い時間でしたが、実際の利用者さんの事例をもとにスタッフの方々と共にケアを考えました。

前半60分は、リンパ浮腫の概論をお話しさせて頂きました。事前に利用者さんの情報を頂いていたので、概論をもとに利用者さんの浮腫をアセスメントしました。後半30分は、私が実施する医療徒手リンパドレナージをスタッフの方々に体験して頂きました。「もっと強くやってたわ」とか、「長いストロークで流す方が良いと思ってたわ」とか、健康な方を対象とした美容系の手技や指圧とは異なることを理解し、ドレナージの圧や方向の重要性を体感し理解して頂けたと思います。

スタッフの方々は、折々に質問したり感想を言い合ったり、和やかながらもとても積極的に参加して頂きました。訪問看護という限られた時間のなかで、必要なケアを組み立て利用者さんの生活を支援し、苦痛を和らげるために真摯に向き合っておられるスタッフの方々のチームワークの良さとそのお一人お一人のご様子に、私自身が感銘を受けよい刺激を頂きました。

これからもリソースとして地域の方々と共に、患者さんの生活をより豊かにできるお手伝いができれば参加させて頂きたいと思います。いつでもお気軽にお声かけ下さい。



皮膚排泄ケア認定看護師 出前講座に伺います

・ポジショニングやスキンケア、皮膚の観察の仕方
おむつのあて方など…講義・講習を受けてみませんか？

・自施設の問題や悩み事など…

認定看護師が皆さんと一緒に考えます！

地域医療連携課にご相談ください。

連絡先：68-3314

長浜赤十字病院 地域医療連携課 担当者：赤尾